

2020年12月1日

臨床研究に関する公開情報

京都市立病院薬剤科では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究の計画書・研究方法についての資料や患者さん自身の情報についてお知りになりたい場合、この研究に患者さん自身のカルテ情報を利用されることを拒否される場合など、お問い合わせがありましたら、以下の連絡先へ照会ください。なお、この研究に参加している他の患者さんの個人情報や研究の知的財産等はお答えできない内容もございます。ご了承ください。

1 研究課題名

当院集中治療室における循環作動薬の使用状況の変遷

2 研究責任者

村岡淳二

3 研究の背景

敗血症は迅速かつ適切な治療が必要な疾患であるが複数の科が関わるため治療が統一されにくいです。当院では日本版敗血症診療ガイドライン2016に基づき、2017年4月敗血症診療プロトコルを作成し敗血症診療の改善に取り組んでおります。また医療安全や医薬品適正使用の観点から薬剤希釈方法の一覧表を作成し周知を行いました。2019年にはバソプレシンの簡便な使用を目的に希釈方法を見直し集中治療室の定数を変更しました。

4 研究の目的

集中治療室における循環作動薬の使用実態を調査し敗血症治療への種々の介入による影響を評価することを目的としております。

5 研究の対象者

2017年4月から3年間、集中治療室におけるノルアドレナリン、ドパミン、ドブタミンおよびバソプレシンを使用された患者さん

利用する情報は、年齢、疾患名、SOFAスコア、循環作動薬の投与状況を予定しております。

本研究は観察研究であり、患者さんへ直接的な介入や侵襲、費用負担はありません。

6 資料の管理

患者さんのデータは研究担当者が責任をもって匿名化しますので、他者にはその情報が誰のものかわかりません。個人情報の保護には十分に注意を払います。

研究へのデータ提供による利益・不利益は特にありません。また研究への参加・不参加による利益・不利益もありません。

今回、集めた資料は研究発表に使用します。もし患者さん自身、あるいはご家族の情報を本研究に登録されたくない場合は、随時下記連絡先までご連絡ください。しかし、取りやめを希望した時点で、すでに研究成果が公表されていた場合は結果を廃棄できない場合もあります。

この研究計画にご質問がある場合は、下記までご連絡ください。

7 研究機関情報

研究機関名： 京都市立病院

院長： 黒田啓史

8 問い合わせ先

研究担当者： 京都市立病院 薬剤科 多留木崇志

電話： 075-311-5311